

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	歴史総合	2	2	クラス単位

使用教科書	副教材等
歴史総合（実教出版）	準拠ノート

<b>科目の目標</b> <b>①知識及び技能</b> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 <b>②思考力、判断力、表現力等</b> 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 <b>③学びに向かう力、人間性等</b> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
---

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにしている。
② 思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

<b>評価方法</b>	
①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントに基づき評価する。	
③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A歴史の扉	歴史の扉	①私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ②近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	○	○	◎
4	B近代化と私たち (1)近代化への問い	第1章 近代化への胎動	①17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通などを基に日本からみたアジアの政治・経済・社会を理解する。 ②17世紀から19世紀にかけての日本における経済活動の特徴、アジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
5	(2)結びつく世界と日本の開国	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	①18世紀前後のヨーロッパやアメリカ大陸における生産と流通、アジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀前後の世界の政治と社会を理解する。 ②18世紀前後のヨーロッパ地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
6	(3)国民国家と明治維新	第3章 欧米諸国と国民国家の形成	①日本と欧米諸国の外交関係を基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解する。 ②19世紀後半の日本と欧米諸国の関係を多面的・多角的に考察、表現する。	◎	○	○
7	C国際秩序の変化や大衆化と私たち (1)国際秩序の変化や大衆化への問い	第4章 帝国主義の時代	①帝国主義の動き、日本と東アジアの関係などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解する。 ②19世紀から20世紀初頭における、アジア地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
9 10	(2)第一次世界大戦と大衆社会	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	①第一次世界大戦前後の国際協調体制や大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ②第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
11 12	(3)経済危機と第二次世界大戦	第6章 経済危機と第二次世界大戦	①世界恐慌、ファシズムによる国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ②国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の推移と影響、大戦後の国際秩序の形成が及ぼした影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
1	Dグローバル化と私たち	第7章 冷戦と脱植民地化	①冷戦下の紛争、先進国の動向などの国際政治の変容及び世界経済の拡大と高度経済成長下の日本の社会を理解する。 ②地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
2		第8章 多極化する世界	①冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とその対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ②冷戦後の国際政治の特徴と日本の役割を多面的・多角的に考察、表現する。	○	◎	○
3		第9章 グローバル化と現代世界	②現代的な諸課題を展望し、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	地理総合	2	2	人文社会系列

使用教科書	副教材等
高等学校 新地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	準拠ノート

科目の目標
<p>社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図などを用いたり調査結果や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しようとしていたりしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</p>

評価方法
<p>授業プリント等の記述やグループワークへの取り組み状況 中間・期末・学年末テストの点数 提出物への取り組み状況や授業そのものへの取り組み状況も評価の対象とします。</p>

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③
4	第1部 地図でとらえる現代社会	第1節 地球上の位置と時差 ・位置の基準～地球上の緯度・経度 ・時間の基準～時差と標準時	・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。	○		
5	(1)地図と地理情報システム	第2節 地図の役割と種類 ・身の回りの地図を集める ・地理院地図の活用 ・地図・GISの仕組みと役割	・日常生活の中でみられる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や重要性などについて理解する。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につける。		○	
6	(2)結びつきを深める現代社会	中間テスト 第1節 現代世界の国家と領域 ・視点を変えてみた日本の位置 ・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題 ・国家間の結びつき ・交通・通信による結びつき ・貿易・物流による結びつき ・観光による結びつき	・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野からみた日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域構成をもとに、国家間の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
7	第2部 国際理解と国際協力 (1)生活文化の多様性と国際理解	第1節 世界の地形と人々の生活 ・変動帯とプレート ・河川がつくる地形と生活 ・海岸の地形と生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境に影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。		○	
9		期末テスト		○	○	
10		第2節 世界の気候と人々の生活 ・大気の循環 ・各気候帯における自然環境と生活 ・農業の発展と生活文化 ・工業の発展と生活文化 ・商業・サービス業の発展と生活文化	・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地理的環境の特色や世界各地の生活文化について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
		期末テスト		○	○	
		第3節 世界の言語・宗教と人々の生活 ・宗教・言語の分布と生活文化 ・移民と難民 ・生活文化の多様性			○	
11		4節 歴史的背景と人々の生活 ・水の恵みと生活文化(南アジア) ・河川による恵みと生活文化 ・水の恵みによる発展と課題	・世界地誌についての学びを基に現代世界が互いに影響を受けたり、与えたりして成り立っていることについて理解する。 ・世界地誌についての学びを基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。			○
12		・経済統合による生活文化の変化(EUと周辺諸国) ・自然環境と農業 ・産業・交通の発達による一体化 ・統合の進展と課題	・世界地誌について、授業で取り扱われた地域の特徴やそれ以外の地域との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界地誌について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
1		期末テスト ・土地の開発による生活文化の形成(フアンアメリカ) ・農牧業の発展と生活文化 ・発展と社会に見られる課題		○	○	
2	(2)地球的課題と国際協力	第2節 地球環境問題 ・環境問題と持続可能な社会 ・森林減少・砂漠化とその対策 ・気候変動とその対策	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地域的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、理解する。 ・地球的課題解決を目指した、持続可能な社会の実現を目指す各国の取組や国際協力の必要性を理解する。			○
		第3節 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギーと課題 ・リサイクル・再生可能エネルギー	・地球的課題について、地域結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地球的課題と国際協力について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。		○	
		学年末テスト		○	○	

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	地理総合	2	3	自然科学・食品園芸・機械技術・電子情報・ビジネス・ライフデザイン系列

使用教科書	副教材等
高等学校 新地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	準拠ノート

科目の目標
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図などを用いたり調査結果や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>② 思考・判断・表現 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しようとしたりしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</p>
評価方法
<p>授業プリント等の記述やグループワークへの取り組み状況 中間・期末・学年末テストの点数 提出物への取り組み状況や授業そのものへの取り組み状況も評価の対象とします。</p>

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	①	②	③
4	第1部 地図でとらえる現代社会	第1節 地球上の位置と時差 ・位置の基準～地球上の緯度・経度 ・時間の基準～時差と標準時	・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。	○		
		第2節 地図の役割と種類 ・身の回りの地図を集める ・地理院地図の活用 ・地図・GISの仕組みと役割	・日常生活の中でみられる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や重要性などについて理解する。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につける。	○		
6	(2)結びつきを深める現代社会	中間テスト		○	○	
		第1節 現代世界の国家と領域 ・視点をえてみた日本の位置 ・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題 ・国家間の結びつき ・交通・通信による結びつき ・貿易・物流による結びつき ・観光による結びつき	・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野からみた日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域構成をもとに、国家間の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
7	(1)生活文化の多様性と国際理解	第1節 世界の地形と人々の生活 ・変動帯とプレート ・河川がつくる地形と生活 ・海岸の地形と生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境に影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。	○		
		期末テスト		○	○	
9		第2節 世界の気候と人々の生活 ・大気の循環 ・各気候帯における自然環境と生活 ・農業の発展と生活文化 ・工業の発展と生活文化 ・商業・サービスの発展と生活文化	・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地理的環境の特色や世界各地の生活文化について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
		期末テスト		○	○	
10		第3節 世界の言語・宗教と人々の生活 ・宗教・言語の分布と生活文化 ・移民と難民 ・生活文化の多様性				○
		期末テスト		○	○	
11		4節 歴史的背景と人々の生活 ・水の恵みと生活文化(南アジア) ・河川による恵みと生活文化 ・水の恵みによる発展と課題	・世界地誌についての学びを基に現代世界が互いに影響を受けたり、与えたりして成り立っていることについて理解する。 ・世界地誌についての学びを基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。			○
		・経済統合による生活文化の変化(EUと周辺諸国) ・自然環境と農業 ・産業・交通の発達による一体化 ・統合の進展と課題	・世界地誌について、授業で取り扱われた地域の特徴やそれ以外の地域との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界地誌について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
1		期末テスト		○	○	
		・土地の開発による生活文化の形成(ラテンアメリカ) ・農牧業の発展と生活文化 ・発展と社会に見られる課題				○
2	(2)地球的課題と国際協力	第2節 地球環境問題 ・環境問題と持続可能な社会 ・森林減少・砂漠化とその対策 ・気候変動とその対策	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地域的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、理解する。 ・地球的課題解決を目指した、持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力の必要性を理解する。			○
		第3節 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギーと課題 ・リサイクル・再生可能エネルギー	・地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地球的課題と国際協力について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	○		○
		学年末テスト		○	○	



教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	5	3	人文社会系列選択

使用教科書	副教材等
精選日本史探究 (実教出版)	

科目の目標
<p>①知識及び技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②思考力、判断力、表現力等 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>
評価方法
<p>①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。</p> <p>②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。</p> <p>③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。</p>

学習計画							
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③			
4	A 原始・古代の日本と東アジア (1)黎明期の日本列島と歴史的環境		①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。	◎ ○ ○			
			②自然環境と人間の生活との関わり、アジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目し、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。				
	(2)歴史資料と原始・古代の展望		①原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	◎ ○ ○			
			②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察する。				
	5 古代の国家と社会の展開と画期		①国家の形成、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。また、貴族政治の展開、地方支配の変化などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	○ ◎ ○			
			②中国王朝や朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について多面的・多角的に考察する。また、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、古代の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。				
	6 B 中世の日本と世界 (1)中世への転換と歴史的環境		①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。	◎ ○ ○			
②権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目し、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。							
(2)歴史資料と中世の展望		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	◎ ○ ○				
		②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。					
7 中世の国家・社会の展開と画期		①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の伸張、社会や文化の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。	○ ◎ ○				
		②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。					
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③			
9	C 近世の日本と世界 (1)近世への転換と歴史的環境		①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。	◎ ○ ○			
			②村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。				
			③近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。				
10	(2)歴史資料と近世の展望		①歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○			
			(3)近世の国家・社会の展開と画期			①法や制度による支配秩序の形成と身分制、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。また、産業の発達、知行や一般の発達の関係、幕府政治の動向と庶民の生活、庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。	○ ◎ ○
						②幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。	
11	D 近現代の地域・日本と世界 (1)近代への転換と歴史的環境		①外交政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。	◎ ○ ○			
			②欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。				
			③近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。				
12	(2)歴史資料と近代の展望		①歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○			
			(3)近現代の地域・日本と世界の画期と構造			①明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。	○ ◎ ○
						②アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について多面的・多角的に考察する。	
1			①文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。	○ ◎ ○			
			②欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響などに着目して、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について多面的・多角的に考察する。				
			③恐慌と国際関係、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。				
2			①国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○			
			②占領政策、憲法の成立、平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及び現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。				
			③冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次大戦後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。				
3	(4)現代の日本の課題の探究		①歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。	○ ◎ ○			
			②歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察する。				

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	2	3	自由選択D群

使用教科書	副教材等
精選日本史探究（実教出版）	

科目の目標
<p>①知識及び技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまるとともに技能を身に付けるようにする。</p> <p>②思考・判断・表現力等 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまるとともに技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>
評価方法
<p>①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。 ②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。 ③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。</p>

学習計画				
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③
4	A 原始・古代の日本と東アジア (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境		①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ②自然環境と人間の生活との関わり、アジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目し、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。	◎ ○ ○
			①原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察している。	◎ ○ ○
	5 古代の国家と社会の展開と画期		①国家の形成、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治、社会や文化の特色を理解する。また、貴族政治の展開、地方支配の変化などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ②中国王朝や朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について多面的・多角的に考察する。また、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、古代の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 ②権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目し、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	6 中世の日本と世界 (1) 中世への転換と歴史的環境		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の変容、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
7 中世の国家・社会の展開と画期		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○	
		①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の変容、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○	
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③
9	C 近世の日本と世界 (1) 近世への転換と歴史的環境		①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ②村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	10 近世の国家・社会の展開と画期		①法や制度による支配秩序の形成と身分制、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。また、産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動向と諸藩の動向、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ②幕藩体制との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達などに着目し、近世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響などに着目し、近世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
11	D 近現代の地域・日本と世界 (1) 近代への転換と歴史的環境		①対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ②欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治、経済の動向と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	12 近現代の地域・日本と世界の画期と構造		①明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ②アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
1			①文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ②欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響などに着目して、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①恐慌と国際関係、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ②国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①占領政策、憲法の成立、平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及び現代の政治や社会の仕組み、国民生活の変容を理解する。 ②冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次大戦後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
3	(4) 現代の日本の課題の探究		①歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。 ②歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○



教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	郷土研究	2	3	自由選択F群

使用教科書	副教材等
図説森町史（森町教育委員会）	

<b>科目の目標</b> ①知識及び技能 郷土の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について基本的な事柄を理解するとともに、郷土の歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 郷土の歴史的・地理的事象から課題を見だし、郷土の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察したり、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現したりする力を養う。 ③学びに向かう力、人間性等 郷土の歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する態度を養うとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする自覚などを深める。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・郷土の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について基本的な事柄を理解している。 ・郷土の歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	郷土の歴史的・地理的事象から課題を見だし、郷土の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察したり、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	郷土における諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
評価方法	
① 知識・技能…定期テスト、ワークシートなどに基づき評価する。 ② 思考・判断・表現…ワークシート、レポート、プレゼンテーションなどに基づき評価する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…ワークシート、レポート、プレゼンテーションなどに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第1章 地域の現状 ・森町の地形と地名 ・森町の人口	1 森町の自然 ～4 森町の動物	① 森町の地形と地名、森町の人口などを基に、森町の地域の現状について理解する。	◎	○	○
			② 森町の地形と地名、森町の人口などの基本的な町政のデータと関わらせて森町の地域の現状について考察し、表現する。			
5	第2章 産業と文化 ・森町の産業 ・太田川ってどんな川？	34 戦後発展と21世紀の森町へ 41 交通・信仰 42 生業	① 森町の農業、製造業、伝統工芸などを基に、森町の産業の特色について理解する。	○	◎	◎
			② 森町の農業、製造業、伝統工芸などに関して主題を設定し、産業が発展した背景や産業が地域に与える影響を考察し、表現する。			
6 7 8 9	第3章 森町の歴史 ・産業革命と鈴木藤三郎 ・森町実科高等女学校と周智農林学校 ・戦争と地域	28 森町の近代のはじまり ～33森地域の戦争体制と人々	① 産業革命と鈴木藤三郎、森町実科高等女学校と周智農林学校、戦争と地域などを基に、学校の創立から戦争に至るまでの森町の歴史について理解する。	◎	○	○
			② 産業革命と鈴木藤三郎、森町実科高等女学校と周智農林学校、戦争と地域などに関して主題を設定し、森町の歴史について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。			
10 11	・縄文・弥生・古墳時代 ・戦国時代と天方城 ・江戸時代の村々	5 縄文時代の森 ～27 近世森の学芸	① 縄文・弥生・古墳時代の森町、戦国時代と天方城、江戸時代の村々の様子などを基に、古代から近世に至るまでの森町の歴史について理解する。	◎	○	○
			② 縄文・弥生・古墳時代の森町、戦国時代と天方城、江戸時代の村々の様子などに関して主題を設定し、森町の歴史について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。			
12 1	第2章 産業と文化 ・森町の伝統芸能	35 遠江一宮の舞楽の歴史 ～39 森の祭・かさんぼこ	① 小國神社・天宮神社の舞楽、森のまつりなどを基に、森町の伝統芸能の特色について理解する。	○	◎	◎
			② 小國神社・天宮神社の舞楽、森のまつりなどに関して主題を設定し、森町の伝統芸能について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。			
2	第4章 地域調査・課題研究	44 森町の民家 ～50 史跡・名勝・天然記念物	① 地理的・歴史的な背景を踏まえ、現在の森町が抱える諸課題やこのような諸課題を解決するための方向性などについて理解する。 ② これからの森町が進むべき方向性について、森町の歴史、地域の産業や文化、持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、将来の森町の在り方について多面的・多角的に探究し表現する。	○	◎	◎



教科	科目	単位数	学年	集団
公民	倫理	2	3	自由選択E群

使用教科書	副教材等
実教出版 詳述 倫理	浜島書店 最新図説 倫理

<b>科目の目標</b> <b>①知識及び技能</b> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 <b>②思考力、判断力、表現力</b> 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 <b>③学びに向かう力、人間性等</b> 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
評価方法	
① 知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート・授業プリントなどに基づき評価する。 ② 思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート・授業プリントなどに基づき評価する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6 7 8	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1)人間としての在り方生き方の自覚	第1章 自己形成と自己の生き方 第1節 青年期の課題と自己形成 第2節 人間とは何か	<b>①知・技</b> 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。 <b>②思・判・表</b> 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
		第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想 ～第6節 宗教・芸術と人生	<b>①知・技</b> 幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方に関わる様々な人生観について理解する。 <b>②思・判・表</b> 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○
		第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節 人間の尊厳 ～第6節 現代の暴力に抗して	<b>①知・技</b> ・善、正義、義務、真理、存在などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方、世界と人間の在り方に関わる様々な倫理観や世界観について理解する。 ・先哲の思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付ける。 <b>②思・判・表</b> 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○
12 1 2	(2)国際社会に生きる日本人としての自覚	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 ～第4節 西洋思想の受容と展開	<b>①知・技</b> ・我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方に関わる人間観、自然観、宗教観などの特質について理解する。 ・日本の先哲の思想に関する諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付ける。 <b>②思・判・表</b> 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
2	B 現代の諸課題と倫理(1)自然や科学技術に関わる諸課題と倫理	第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 ～第3節 科学技術の倫理	<b>②思・判・表</b> 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	○	◎	○
3	(2)社会と文化に関わる諸課題と倫理	第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 第1節 福祉の課題 ～第3節 平和の課題	<b>②思・判・表</b> ・福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	○	◎	○